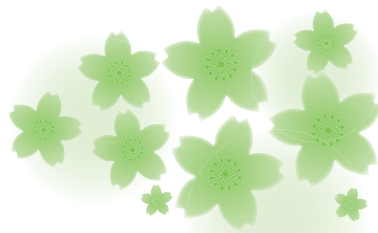


亞くろいし 市議会だより



第12号
平成28年3月1日発行



時代れきしこそ
宝なり

目次

- 定例会の概要.....2
- 議員提出議案.....3
- 定例会一般質問など.....4~6
- 行政視察報告など.....7
- 青森県市議会議員研修会など.....8

江戸時代の享保雛

平成27年第4回定例会の概要

平成27年第4回定例会は11月26日から12月8日までの13日間にわたって開かれ、市長提出の3報告・13議案、議員提出の2議案を慎重な審議の上、いずれも原案どおり承認・報告・可決いたしました。

各議案の議決結果と各会派の賛否一覧は下記をご覧ください。

また、12月8日には、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が行われ、猪股正大氏、神光正氏、山田明匡氏、北山雄一氏の4人が選挙管理委員会委員に、第1順位鈴木盛人氏、第2順位成田英雄氏、第3順位須藤俊博氏、第4順位大川ちゑ氏の4人が選挙管理委員会補充員に当選されました。

第4回定例会の報告・議決結果と各会派の賛否一覧 (○は賛成、●は反対)

番 号	件 名	会 派 名					議決結果
		自民・公明 クラブ	黒石市民 クラブ	日本 共産党	高佑会	新政会	
報告第29号	平成27年度黒石市一般会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	承認
報告第30号	訴えの提起について	○	○	○	○	○	報告
報告第31号	黒石病院診療費請求事件に関する和解について	○	○	○	○	○	報告
議案第102号	黒石市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例制定について	○	○	●	○	○	原案可決 (起立多数)
議案第103号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	○	○	●	○	○	原案可決 (起立多数)
議案第104号	黒石市税条例等の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第105号	黒石市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第106号	黒石市落合共同浴場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第107号	黒石市黒森山ウォーキングセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第108号	有料都市公園施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第109号	黒石市勤労青少年ホーム・黒石市中央スポーツ館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第110号	スポカルイン黒石の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第111号	黒石市立武道場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第112号	黒石地区清掃施設組合の共同処理する事務の変更及び黒石地区清掃施設組合同規約の変更について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第113号	平成27年度黒石市一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第114号	平成27年度黒石市介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案 第 5 号	西十和田トンネル（仮称）の早期建設を求める意見書の提出について	○	○	●	○	○	原案可決 (起立多数)
議員提出議案 第 6 号	津軽広域水道企業団との受水契約の見直しを求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	原案可決



議員提出議案第5号 西十和田トンネル（仮称）の早期建設を求める意見書

国道454号は青森県大鰐町から青森県平川市小国地区に至り、さらに、国道102号との重用区間である、青森県平川市温川地区、秋田県小坂町滝ノ沢を経て青森県八戸市に至る大部分が山岳の道路で、冬期間は閉鎖となる国道です。

現在では東北縦貫自動車道弘前線と八戸線の連絡道の役割を担っているほか、東北新幹線が全線開業となった今日では、国際的観光地である十和田湖・岩手県八幡平圏域への観光ルートとしてますます重要な役割を担う路線であります。

しかしながら、この路線は豪雪地帯に位置しており、特に青森県平川市温川から秋田県小坂町滝ノ沢までの山岳の区間5.1kmは、毎年4カ月余りの冬期閉鎖を余儀なくされております。

このような事情は、冬期間における青森県の津軽と南部の物流の連絡に不便を来しているだけでなく、冬期観光ルートプランニングのマイナス要因ともなっており、本区間のトンネル整備は路線利用者の切実な願いとなっております。

黒石市議会では平成4年度に国道454号整備促進期成同盟会の会員となり、20年余り要望活動を行ってきたところでありますが、トンネル建設の計画は遅々として進んでおりません。

よって、今後の国土の均衡ある発展のためにも、西十和田トンネル（仮称）の早期建設を強く要望するものであります。

反対討論

観光調査、交通量調査、そしてまた動物や鳥類などいろいろな生態系の中できちんと考えていかなければいけないということ。

また、県も青楓トンネルにお金が10年間かかるので、今のところそちらを終了しないと考えられないと言明している。

さらに、今になって秋田県が前よりもトーンダウンしているという中で、近隣の市町村、平川市の議会としても何か動きがあるわけでもない。前回よりもさらに足並みが揃っていないという中で、黒石市以外のメリットを見出すことができない。もっと近隣などの足元を固めながら進めなければ、今の状態だと空回りしているように見えるので、現時点では反対するものである。

賛成討論

現時点できちんとした調査もまだ行われていないので、調査をしてもらうためにも声を上げなければいけない。

また、青楓トンネルが終了してから手を上げて遅いため、今から必要性をどんどんこちらからアピールしていかなければならない。動きがまだ少ないと言っているが、そのために黒石市議会のできることにしてこれを取り上げている。

冬に津軽からのルートがないということは、観光にとっても、また産業にとっても非常に大きい問題である。私たちの責任として、将来を見据えて少しでもこの動きを先に進めるようつなげていかなければならないと考えるため、早期建設に賛成するものである。

賛成多数により原案可決

議員提出議案第6号 津軽広域水道企業団との受水契約の見直しを求める意見書

津軽広域水道企業団からの受水費は、企業団構成市町村の将来の水需要を予測した水道計画に基づく供給責任水量を基本水量として、基本料金（基本水量×単価）と、使用料金（使用水量×単価）とで構成されています。昭和63年受水当初基本水量は、供給責任水量の50%とし、その後、平成5年に供給責任水量の75%とする基本水量の見直しを行い現在に至っています。

しかし、近年の人口減少に伴い、各市町村とも実際の使用水量と基本水量との差が大きく広がっています。人口減少率の高い市町村は受水単価が高くなり、結果として水道料金が高額となっている市町村もあります。

企業団は、来年度中にも実際の使用水量と基本料金のもととなる基本水量との差を是正して、適正な基本水量となるよう早期の対策を講ずるべきと考えます。

よって、確実に実現されるよう強く要望いたします。

全会一致により原案可決



第4回定例会一般質問

一般質問は、12月3・4日の2日間行われ、10人の議員が市の諸問題についての質問をしました。



自民・公明クラブ
大久保朝泰 議員
(一問一答方式)

問 黒石市立六郷小学校給食用厨房爆発事故後の状況と給食再開についての考えは。

答 現在、ランチルームのあった場所に警察の本部が設置され、原因解明のための捜査が継続しています。市長からの指示もあり、教育委員会では警察からの現場見聞、瓦礫の撤去の立ち会いなど、警察の捜査には全面的に協力しています。給食については再開する方向で検討しています。再開後の給食が自校式かセンター方式によるものかは、まだ決定していません。今後、庁内関係課と協議し、実現に向けて推し進めなければならぬと考えています。

問 6次産業化施策について、現状の取り組みは。

答 平成27年12月1日に、青森県産業技術センターと連携・協力に関する協定の締結を行い、新たな食ビジネスの創出並びに観光産業と連携した取り組みの基盤づくりが期待されています。また、当市



新政会
三上 廣大 議員
(一問一答方式)

のオリジナルりんご「黒石1号」を使用して、県内洋菓子店の協力により、アップルパイやケーキの商品化に取り組んでいます。

問 雪対策について、小・中学校通学路の除排雪状況は。

答 市内通学路については、市内一斉除雪の他、冬休み明けに合わせた除排雪を行っています。また、昨年度は黒石市除排雪協力がボランティアで黒石東小学校東西の市道の除排雪を行っており、さらに地区によっては町内会、PTAが中心となり、学校周辺の除排雪に取り組んでいます。

問 国民健康保険黒石病院について、産科、小児科医師確保の見通しは。

答 医師確保については、これまでも弘前大学医学部に対し医師派遣を粘り強く要望していることに加え、青森県地域医療支援センターへの支援の要請や医師募集サイトへの求人広告掲載等の方策を講じてきました。医師確保のため



自民・公明クラブ
今 大介 議員
(一括方式)

には継続性が必要であり、今後もあらゆる方策を講じます。

問 マイナンバー制度について、制度施行後の市民への対応のため、専門窓口を設置する考えはあるか。

答 さまざまな要件で窓口に来られるお客様もいることや、カードを発行する機械自体も1台しかないことから、通常の窓口スペースは設けませんが、特別な窓口の設置は考えていません。

問 地酒による乾杯を推奨する条例制定について、1年経つての現状は。

答 この条例は、当市の象徴の一つである重要伝統的建造物群保存地区のこみせを守り、育てる役割を担ってきた蔵元の地酒を再認識し、地酒での乾杯を推奨することで、食を含めた伝統文化の継承と、地元産品の愛用を図ることを目的に、平成26年10月に制定されました。制定されてから、約1年が経過しましたが、その効果としては、飲食店など



黒石市民クラブ
工藤 和子 議員
(一括方式)

からは、「地酒で乾杯する準備を依頼される頻度がふえた」との意見を伺っていることから、徐々にではあります。効果が始めているものと考えています。

問 県内で乾杯条例を制定しているのは当市だけである。イベントを開催してはどうか。

答 来年度、黒石市・宮古市姉妹都市締結50周年でもあることから、宮古市の参加を含め、開催する方向で検討していきたいと考えています。

問 6次産業化の取り組みについて、地場産品を活用したコンテストの実施は。

答 平成15年度から4年間、黒石りんごまつりの収穫感謝祭の中でアップルパイコンテストが実施されておりましたが、平成19年度から実施を見送っています。今後は、黒石りんごまつりなどのイベントで実施するかを含め、関係団体と協力しながら前向きに検討します。

問 県道畑中竹鼻線への市の



対応について、現状と今後の計画は。

○ 県の道路事業として整備が進められていますが、平成27年度は用地測量・建物調査等を実施し、さらに一部用地買収に着手したいということでした。また、平成28年度については、用地買収と建物補償を実施する予定と聞いています。なお、今年度開催された地元説明会において、今後5カ年の計画で整備を進めていくという説明を受けていますので、市としては、これまで同様できる範囲で協力していきたいと考えています。



自民・公明クラブ
工藤 俊広 議員
(二問一答方式)

○ 当市のホームページについて、改善する考えは。

○ 情報発信の一元化を含めた機構改革を検討しています。また、英語版の掲載についても検討しています。

○ 緊急時に支援が必要とされる方の情報を書き込んでおくヘルプカードを導入する予定はあるか。

○ ヘルプカードの取り組み

は当市としても必要と考えています。県の方向性を見守り、統一性のあるものとして実行したいと考えています。

○ 出生・婚姻届を受理する際に窓口でハッピーカードとして祝意を伝える取り組みを行うてはどうか。

○ カードのデザインやメッセージ等を検討し、まずは出生届を提出した方に笑顔での窓口配布を行いたいと考えています。

○ 生活困窮者自立支援法について、ひきこもりの実態調査、相談体制、社会復帰支援等の取り組みは。

○ 実態把握を民生委員等の協力を得ながら進めたいと思います。相談体制の強化もプライバシーに十分配慮して取り組みます。社会復帰支援等については、ケースに合わせた支援調整会議等を開催し相談者に合った支援のあり方を検討していきます。



高佐会
高橋美紀子 議員
(二問一答方式)

○ 学校給食について、有識者や保護者等も加えた学校給

食設置検討委員会(仮称)を設立してはどうか。

○ 早い時期に方向性を示し六郷小学校給食厨房爆発事故による保護者の不安の解消を図るためにも、黒石市立小・中学校適正配置庁内連絡会議内に学校給食調整会議の設置を考えています。有識者等にはオブザーバーとして参加してもらい意見をまとめてみたいと思っています。

○ 市民文化会館再開について、意識調査の実施、施設の現状、再開後の使用団体の把握はどうなっているか。

○ りんごまつりにおいて200人に対し意識調査を行いました。各回答結果は、全部再開がよい52・5割。一部再開がよい22・5割、再開の必要はない25割でした。今後は各地区協議会、公民館長の集まる場にて趣旨説明をした上で、今回と同様の意識調査を実施したいと考えています。現在施設の維持費は年間200万円となっています。再開後の使用団体については正確には把握していませんが、文化協会など社会教育関係団体、市内小・中学校、高校を想定しています。

○ 街灯のLED化事業について、住民への説明は。対象



自民・公明クラブ
大溝 雅昭 議員
(二問一答方式)

○ 六郷小学校の事故は学校適正配置、学校給食実施に影響するの。

○ 学校給食は平成32年4月の統合に併せ、市内全小学校での実施を目指し検討していきます。適正配置は計画に影響が出ないように進めます。

○ 選挙について、県内では人が集まりやすい場所に期日前投票所を設置している例はあるか。黒石市でも期日前投票所を増設する考えはあるか。主権者教育の動向は。

○ 県内では、平成27年6月の県知事選挙で期日前投票所をショッピングセンターなどに4カ所、大学に2カ所設置した事例があります。当市では、期日前投票システムが整備されていないため増設することは難しい状況です。小・中学校の主権者教育は学習指導要領改訂による教育課程が実施される平成32年度以降になります。

○ 街灯のLED化事業について、住民への説明は。対象

外町内の撤去費用に助成できないか。

○ 平成27年7月2日に説明会を開催しました。独自の装飾・商業用街灯については、補助対象外になることが判明したため、11月17日に対象外の町内に再度説明し、実施するかどうか回答を求めました。対象外の撤去費用の助成は考えていません。



自民・公明クラブ
中田 博文 議員
(二問一答方式)

○ ふるさと納税について、寄附者をふやすことは、財源の一助とする千載一遇のチャンスである。特典の見直しをする考えはないか。

○ 特典の充実、市のPRにもつながるものと考えています。今後は、地酒やりんごはもちろん、他の地場産品の導入も視野に入れ、特典の充実を図りたいと考えています。

○ 財政健全化について、地方交付税、市税収入、財政調整基金、財政計画の見直しは。

○ 地方交付税は減少基調であり、交付税総額はふえる方向にないと考えます。起債残



高減少に伴い、交付税措置分は毎年3千万円程度減少する見込みです。市税収入は増加の要因が乏しい状況にあります。財政調整基金は底をつかないように努めます。財政計画については、3年程度の中期財政見通しを示していきたいと考えています。

問 組織機構のあり方について、部・課の見直しは。

答 喫緊の課題がある分野は職員を重点配置し、スリム化が可能な部署は統廃合も視野に入れ、市民サービスの低下を招くことがないよう必要な措置を講じたいと考えています。



日本共産党
工藤 禎子 議員
(二問一答方式)

問 TPP交渉は国会決議を守られず大筋合意したが、県内10市で市長だけが「どちらかと言えば賛成」としている。黒石の農業を守っていけないと思つが。

答 農業生産物であるりんごや米も関税の段階的な撤廃により影響を受けますが、これを危機と捉えるのか、チャンスと捉えるかです。農業の基

盤整備を進め、競争力のある農業を目指し、自立した黒石を官民一体となって乗り越えたいと考えています。

問 市長が「雪のない街づくり」を公約としているが、雪対策総合プランを作成すべき。今年度の除雪等に対する市民要望にどう応えていくのか。

答 「雪のない街づくり」については、引き続き除雪計画と、流融雪溝の整備計画を核とし、着手に向け検討します。市民の要望については、地区要望や市長と地区協議会との意見交換会の結果を参考にし、可能な限り迅速に現地を確認し、緊急性などを勘案しながら対処します。

問 六郷小学校における事故後の学校給食の再開について、地域の要望に応えるべき。

答 給食については再開するということで進めています。早い時期に方向性を示して、保護者の不安の解消を図りたいと考えています。



黒石市民クラブ
福土 幸雄 議員
(一括方式)

問 議会における行政の答弁

について、「検討する」という答弁が多いが、検討結果を報告する場を設けてはどうか。

答 行財政の施策に係る質問に対する議会答弁については、熟慮の上であることをご理解ください。また、検討結果の報告については、市民及び議員の皆様へ報告するよう一層努めます。

問 第5次総合計画について、基本計画にプロジェクト毎の事業費を計上するべきでは。

答 基本計画4年分の事業費と毎年の予算の整合性を図ることが必要のため、事業費の計上は難しい状況です。そのため、新年度予算発表時に重点プロジェクトごとの主要施策と予算額を示すことで、基本計画の個別施策が分かりやすくなるよう努めています。

問 スポーツ推進について、市民の健康長寿を目指すためにも、スポーツ推進計画を策定してはどうか。

答 現在、スポーツ推進計画を策定するに当たり、アンケート調査を実施しており、市民や各地区協議会の意見も取り入れ、市民のニーズに合った計画を策定したいと考えています。

第8回「議会報告会」を開催

平成27年12月19日、スポカルイン黒石2階大会議室で、8回目となる「議会報告会」が開催されました。報告会には15人の市議会議員と、約40人の市民の皆さんが参加しました。

初めに、北山議長が挨拶し、続いて9月・12月議会の報告を行いました。主な内容は、議員提出議案についてや平成26年度決算について議員から説明を行った後、意見交換を行いました。

市民の皆さんからは、「宮古市との姉妹都市締結50周年に当たり子供たちの交流を深めては」、「農業に対する支援策や商店街の空き店舗対策は」、「将来の黒石市のビジョンは」等のご意見・ご質問がありました。

また、高校生との意見交換では、18歳選挙権のメリット・デメリットについてや若者が政治に興味を持てる情報発信について、選挙に対する要望について、黒石病院の赤字について等の意見交換が行

われました。

今回の報告会は、今年の参議院選挙から予定されている18歳からの選挙権に対する高校生の皆さんとの率直な意見交換が一つの大きな目的でした。初の試みでしたが、黒石高校の生徒と教頭先生が参加し、積極的に発言してくれたことで、活発な意見交換をすることができました。

報告会で寄せられた貴重なご意見を今後の議会活動に活かしていきます。これからも報告会へより多くの市民の皆さんに参加していただきたいと思ひます。開かれた議会構築のためにご協力をお願いします。



高校生の皆さんとも意見を交換



●行政視察報告

日本共産党
(工藤 禎子)

高佑会
(高橋美紀子)

視察先
兵庫県赤穂市
兵庫県芦屋市
広島県尾道市
広島県竹原市
(H27年11月9～12日)

【「地域包括ケアシステム(赤穂市)」「院内開業制度(芦屋市)」「公立みつぎ総合病院(尾道市)」「竹原地区伝統的建造物群保存地区(竹原市)」について】

赤穂市の地域包括ケアシステムと尾道市の公立みつぎ総合病院の取り組みについては共通するものがあります。それは、医療と保健・介護・福祉サービスを一体的に提供する機能があることです。在宅の利用者はもちろん、退院して福祉施設に入る利用者も一貫して見ていくという仕組みが地域包括ケアシステムです。当市でも医療中断や寝たきりをつくらない連携システムをさらに充実する必要があると考えます。

芦屋市立芦屋病院には、院内開業制度により歯科と泌尿器科が開業しています。全国的に医師が不足している中で、この制度は医療提供のあり方の一つとして実施されています。

竹原市の竹原地区伝統的建造物群保存地区は、あらゆるものに竹を施すことで、統一感と創意工夫に溢れていました。当市でも「こみせ」を中心とする伝建群が工夫・整備されることが大切だと考えます。

●行政視察報告

黒石市民クラブ
(福士 幸雄・工藤 和子)
(佐々木 隆・後藤 秀憲)

視察先
東京都大田市場
(H27年12月14・15日)

【「青果の流通」「TPP協定の影響」について】

東京都中央卸売市場大田市場は、日本一の広さを持ち、年間約2,700億円の取扱高を誇る国内最大の市場です。その中で、黒石産や青森県産のりんごが非常に高値で取り扱われていました。気軽に買うことができるものが良いのか、富裕層が求めるものが良いのか疑問に感じました。県出身者からは、「青森の人はPRが足りない」と言われ、今後のPR活動を改めて考えるべきだと思いました。

TPP協定が及ぼす影響については、「野菜・果実に関しては新鮮さや品質の点から国産品の人気が高く影響は大きくないと思われるが、大手食品メーカーや外食産業などで二次生産化される品物は安価な外国産との競争を避けられない」とのことでした。当市としては、より品質の良いものを生産するために一層農家の生産技術向上をはかる政策が必要であると考えます。



●行政視察報告

自民・公明クラブ
(村上 隆昭・中田 博文)
(工藤 俊広・大溝 雅昭)
(工藤 和行・大久保朝泰)
(今 大介・村上 啓二)
(北山 一衛)

視察先
東京都荒川区
(H28年1月12・13日)

【「荒川区民総幸福度(GAH)事業」について】

東京都荒川区で、「荒川区民総幸福度(グロス・アラカワ・ハッピーネス:GAH)事業」を視察しました。荒川区は幸せを実感できる区政を目指して、区に住んでいる人たちや、区で働いている人たちが、どれだけ幸せを感じているかを調べる6つの分野の指標(健康・福祉、子育て・教育、産業、環境、文化、安全・安心)を設けました。指標を用いた「幸福度」を測るアンケート調査等を行い、調査結果を分析することで、区民がどのような部分に幸せを感じているか、どのような部分に不幸や不安を感じ、地域がどのような課題を抱えているかを把握していました。区民と行政等の間で意識共有を図り、課題解決のため、政策の立案や改善・解決に向けての様々な取り組みを実施しているという事業でした。当市でも、この手法を参考にし、市民の幸福度をアップしていけるような取り組みを推進する必要があると考えます。



●議員活動報告

自民・公明クラブ
(村上 隆昭・中田 博文)
(大久保朝泰)

新政会
(三上 廣大)

視察先
群馬県富岡市
(H27年11月11・12日)

【「世界遺産富岡製糸場の視察」について】

群馬県富岡市の世界遺産富岡製糸場を視察しました。富岡製糸場は明治5年に当時の政府が模範工場として開業し、日本の近代化の一翼を大きく担った国内初の本格的な繰糸器械を使った製糸工場です。戦中・戦後と長く製糸工場として活躍し、昭和62年3月に操業が停止してからも場内の建物のほとんどが所有者や地元の方々によって大切に守られてきた結果、平成26年6月に世界遺産として登録されました。昨年大河ドラマ「花燃ゆ」の舞台の一つとしても注目を集め、今や多くの世界遺産ファンや歴史ファンが訪れるようになりました。多いときには1日5千人もの観光客が訪れ、富岡製糸場の存在が市内の観光活性化に大きくつながっているとのことでした。当市でも、黒石遺産というべき「伝統的建造物群保存地区こみせ」や「金平成園」の観光地としての、さらなる整備、情報発信が必要であると考えます。



青森県市議会議員研修会に参加しました

平成27年11月20日、八戸市で平成27年度青森県市議会議員研修会が開催され、当市から16人の市議会議員が参加しました。

研修会では「スポーツの力で地域活性化」をテーマに、スポーツジャーナリストで株式会社スポーツコミュニケーションズ代表取締役の二宮清純氏による講演が行われました。スポーツを文化として地元根付かせることが必要であり、そのことが地域の活性化につながると思っていました。また、東京オリンピックに向けた今後の取り組みや自身のリーダー論について話し、講演を終了しました。



二宮清純氏による講演

講演会終了後、縄文是川ボランティアの説明を聞きながら八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の視察見学を行いました。この施設は、隣接する是川遺跡や風張1遺跡などを通して東北地方の優れた縄文文化を発信し、埋蔵文化財の積極的な公開活用と適切な保存管理を図る施設として建設されました。風張1遺跡から出土し、平成21年に国宝に指定された「合掌土偶」を展示する国宝展示室のほか、八戸市各地の遺跡で発掘された縄文時代の土器や漆器などが多数展示されており、縄文社会の一端に触れることができました。



是川縄文館を視察

麻生太郎副総理が当市で市議会議員らと意見交換

平成27年11月28日、麻生太郎副総理兼財務大臣が本市を訪れ、高樋市長や鳴海県議会議員、市議会議員の他、黒石商工会議所や黒石観光協会など市内各団体の代表ら約40人と意見交換会を行いました。会場となった花禅の庄では、麻生副総理から全国の地方活性化に対する成功事例の紹介があった後、各団体の代表が麻生副総理へさまざまな要望をしました。



来黒した麻生副総理

市議会からは14人の議員が出席し、代表して工藤副議長が質問・要望を行いました。「少子高齢化の中で人口減少社会の厳しい地方の現状を打開するためのヒントと成功事例があれば紹介をお願いしたい」

と工藤副議長が述べると、麻生副総理からは、「教育水準の向上が大事である。行政と青年会議所の協力で子供たちの学力向上の強化対策が実を結び志望校への合格率が高まった事が評判となり、その結果、街の人口が増え優秀な人材が街を発展させる好循環となっている事例がある」、「農業も商業も新たな発想をもって取り組んでいかなければならない」などのアドバイスがありました。各種団体からの要望に対しても丁寧に答えてもらいました。

最後に麻生副総理は、「それぞれの団体の皆さんがこれだけ黒石市のことを考え問題意識を持っていれば大丈夫だ」と激励してくれました。



意見交換の様子

お問い合わせ先 黒石市議会事務局

〒036-10396
黒石市大字市ノ町11番地1号
電話 0172-5212129
FAX 0172-5317410

- | | |
|------|--------|
| 委員 | 工藤 俊広 |
| 副委員長 | 大久保 朝泰 |
| 委員 | 高橋 美和子 |
| 委員 | 今藤 紀子 |
| 委員 | 三上 大介 |
| 委員 | 廣大 |

議会だより 編集特別委員会

高橋 美紀子

3月といえば別れの季節ですね。18歳の選挙権で注目される高校3年生の皆さんも一緒に学びあった学友とのご縁をいつまでも大切にしたいです。さても私達は、市民の皆様を想いながら限られた文字数の中でこの議会だよりをつくっています。今回は、より親しみやすく、よりわかりやすく、より皆様のニーズにも応えられるよう、お気づきの点やご意見、ご要望等がありましたらお寄せいただきたいと思います。よろしくお願いたします。

編集後記

